別記様式第１(第５条関係)

国立大学法人お茶の水女子大学　動物実験計画書

国立大学法人お茶の水女子大学長　　殿

|  |  |
| --- | --- |
|  | □新規　□変更・年度更新 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提出年月日 | 年　　月　　日 | 受付年月日 | 年　　　月　　日 | 受付番号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究目的 |  | | | | | | |
| 動物実験責任者名  (選択項目を■) | フリガナ | | | | 部局名 | 職名又は学年 | 動物実験の経験等 |
| 氏名  e-mail |  | |  | 連絡先TEL： |  | 教育訓練受講の□有□無 |
| @ | |
| 動物実験実施者名  (括弧内にフリガナ、選択項目を■) |  | | (　　　　　　　) | |  |  | 教育訓練受講の□有□無 |
| @ | | | | 連絡先TEL： |
|  | | (　　　　　　　) | |  |  | 教育訓練受講の□有□無 |
| @ | | | | 連絡先TEL： |
|  | | (　　　　　　　) | |  |  | 教育訓練受講の□有□無 |
| @ | | | | 連絡先TEL： |
|  | | (　　　　　　　) | |  |  | 教育訓練受講の□有□無 |
| @ | | | | 連絡先TEL： |
|  | | (　　　　　　　) | |  |  | 教育訓練受講の□有□無 |
| @ | | | | 連絡先TEL： |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験実施期間 | 承認後～　　　　　年　　　月 | | | | 中止・終了等 | 年　　　月　　　日 | |
| 飼養保管施設及び実験室 | 飼養保管施設 |  | | | 実験室 |  | |
| 使用動物 | 動物種 | 系統 | 性別 | 匹数 | 微生物学的品質 | 入手先(導入機関名) | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究計画と方法 | 研究概要(研究計画と方法について、その概要を記入する。) |
| 実験方法(動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。) |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特殊実験区分  (該当項目をすべて■) | □  □ | | 1　遺伝子組換え動物使用実験　　区分:□　P1A　□　P2A　□　P3A  2　その他　(具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | |
| 動物実験の種類  (選択項目を■) | | □  □  □ | 1　試験・研究  2　教育・訓練  3　その他 | 動物実験を必要とする理由(意義)  (選択項目を■) | □  □  □ | 1　検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。  2　検討した代替手段の精度が不十分だった。  3　その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　) |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 想定される苦痛のカテゴリー  (選択項目を■) | □ | A　実験動物を用い、動物に対してほとんどあるいは全く不快感を与えないと思われる実験。 |
| □ | B　実験動物を用い、動物に対して軽度のストレス又は痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 |
| □ | C　実験動物を用い、回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 |
| □ | D　無麻酔下の実験動物に、耐え得る限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 |
| 動物の苦痛軽減、排除の方法  (該当項目をすべて■) | □ | 1　短時間の保定・拘束及び注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 |
| □ | 2　科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 |
| □ | 3　麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。  　(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| □ | 4　動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 |
| □ | 5　その他(具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 安楽死の方法  (該当項目をすべて■) | □ | 1　麻酔薬等の使用(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| □ | 2　炭酸ガス |
| □ | 3　中枢破壊(具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　法) |
| □ | 4　安楽死させない(その理由を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 動物死体の処理方法  (選択項目を■) | □ | 1　大学内で焼却 |
| ■ | 2　外部業者に依託 |
| □ | 3　その他(具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| その他必要又は  参考事項 | (過去の動物実験計画書承認実績、飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入する。遺伝子組換え動物の場合は、組換えDNA実験安全委員会の承認番号を記載するとともに、コピーを添付すること。) | |

|  |  |
| --- | --- |
| 委員会記入欄 | 審査終了：　　　　　年　　　月　　　　日 |
| 修正意見等 |
| 審査結果　□　本実験計画は、国立大学法人お茶の水女子大学動物実験に関する規則等に適合する。  　　　　　　　(条件等　□　国立大学法人お茶の水女子大学組換えＤＮＡ実験安全委員会の承認後、実験を開  始すること。)  　　　　　□　本実験計画は、国立大学法人お茶の水女子大学動物実験に関する規則等に適合しない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学長承認欄 | 承認：　　　　　年　　　月　　　日 |
| 本実験計画を承認します。  　　承認番号：第　　　　　　　　　　　　　　　　号  　　　　　　　国立大学法人お茶の水女子大学長 |